

提供日 2024/07/12
タイトル 県道静岡焼津線 浜当日トンネル対策検討会の設置
担当 交通基盤部 道路局道路保全課
連絡先 防災安全班
TEL 054-221-3024



県道静岡焼津線 浜当日トンネル対策検討会の設置について

1 概要

令和6年7月2日に焼津市大崩海岸で発生した斜面崩落に関連し、発生メカニズム、今後の調査、対策等を検討するため、検討会を設置する。

2 検討会の設置

(1) 構成員

■有識者

<トンネル専門家>

- ・真下 英人 施工技術総合研究所 所長
- ・安井 成豊 施工技術総合研究所 技術参事

<地すべり専門家>

- ・今泉 文寿 静岡大学 大学院農学領域 教授

■道路管理者等

- ・静岡県（道路局、島田土木事務所）
- ・焼津市建設部
- ・静岡市建設局

(2) 第1回検討会の議事（公開予定）

- ・開催日時：令和6年7月24日（水） 午後2時
- ・開催場所：県庁本館403会議室
- ・内容：被害状況の確認
発生メカニズムの推測と究明に向けた調査方法等

3 これまでの経緯

- 令和6年4月14日 県民通報により、トンネルのひび割れを確認
4月16日 ひび割れの監視を開始（1日1回の目視）
5月9日 自動計測器の設置
(ひび割れを1分間隔で自動計測し、継続的な動きを監視)
7月2日 土砂崩れの発生（同日 20:45 全面通行止）
有識者に現地調査を依頼。ドローン調査の手配。
7月3日 ドローンによる調査を実施
(全景写真、3次元測量により点群データの取得及び解析)

有識者3名が点群データから作成した図面等をもとに各々現地調査を実施
(7月3日、8日、9日)

4 有識者の現地調査を踏まえた所見

- ・今回の大規模土砂崩れに関連する地山の挙動は、まだ収束していない恐れがある。
- ・まずは、土砂崩れの規模（範囲、深さ等）や、トンネル周辺の地山状況、トンネル構造・位置、崩れとトンネルのひび割れとの関連性を明らかにする必要がある。
- ・そのためには、今後、原位置調査（ボーリング等）を実施する必要がある。

